



1 月 の 行 事 予 定



日	曜	行事
1	金	元旦
冬季休業		
7	木	
8	金	始業式（放送） 集団登校 給食始 5時間授業
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	全校朝会（放送） 集団登校 元気はつらつ週間（～18日）
13	水	席書会 発育測定（1～3年） あいさつ当番（サクラ①）
14	木	発育測定（4～6年） あいさつ当番（サクラ①）
15	金	書初展（～22日） あいさつ当番（サクラ②）
16	土	土曜授業 スピーチ大会（3・4校時） あいさつ当番（サクラ②）
17	日	
18	月	全校朝会（放送）
19	火	避難訓練 あいさつ当番（ヒマワリ①）
20	水	あいさつ当番（ヒマワリ①）
21	木	あおぞらタイム あいさつ当番（ヒマワリ②）
22	金	委員会 あいさつ当番（ヒマワリ②）
23	土	
24	日	
25	月	全校朝会（放送） 租税教室（6年6校時）
26	火	あいさつ当番（ガーベラ①）
27	水	5時間授業（3～6年） あいさつ当番（ガーベラ①）
28	木	児童集会 漢字検定 あいさつ当番（ガーベラ②）
29	金	研究授業（2年1組） 4時間授業（1年・2年2組・3～6年） あいさつ当番（ガーベラ②）
30	土	
31	日	

スピーチ大会について

自分の思いや考えを他者に伝える経験の場として、1月16日（土）3・4校時にスピーチ大会を行います。緊急事態宣言に伴う新型コロナウイルス感染症対策のため、児童のみの鑑賞となります。

書初展について

書初展を1月15日（金）から開催いたしますが、上記と同じく新型コロナウイルス感染症対策のため、児童のみの鑑賞といたします。

ミュージックフェスティバル中止のお知らせ

音楽学習の成果の発表の場として、2月6日（土）にミュージックフェスティバルを予定していましたが、中止といたします。尚、以降の実施の可否につきましては、緊急事態宣言等の動向をみながら、検討してまいりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。



せんぞく

令和3年1月8日 1月号

台東区立千束小学校
校長 瀧島 和則
TEL 3 8 7 6 - 3 7 1 7



↑千束小 HP

教育目標 明るくたくましい子 深く考え最後までやりとげる子 思いやりのある心の豊かな子



穏やかで 心豊かな1年を 過ごせますように

校長 瀧島 和則

皆様 お健やかに 新春をお迎えのことと存じます

2021年元旦。千束ファミリーの皆様のお穏やかで心豊かな1年を願い、近所の公園へ走りに行きました。リニューアルされたその公園には、早朝にもかかわらず多くの方が散歩をしたり、ランニングをしたりしています。中央の芝生では、YOGAをしている姿もありました。1年の初めに、心新たにチャレンジしている人が多いように感じました。

緊急事態宣言が発令され、行事の変更や授業方法の改善等、今まで以上に臨機応変な対応が求められます。保護者や地域の皆様のご理解・ご協力がなければ、学校教育を推進していくことが困難な状況になっています。コロナとの共存が続いていく中、策を練りながら、2021年も良い年にしていこうと、教職員一同心に強く決意しています。

時代の変化という「流行」の中で、未来を切り拓いていくための力の基盤を、学校教育における「不易」たるものの中で育てていきます。そして、豊かな人生を歩むことのできる社会の創り手となるよう、「価値ある学校」を創造していきます。

集うことの大切さ

学校という集団生活の場にも関わらず、去年は「集まる」ことがとても難しい1年でした。全校児童が一堂に会した場面は、校庭で開催した10月24日(土)の115周年記念式典に加えて、ほんの数回です。その数回の中で、全校で集まることの大切さを実感することができました。子供たちは、集まること自体で集団を意識することができます。上学年・下学年を感じるすることができます。先輩の素晴らしさとともに、自分も頑張らなくてはいけない自己肯定感・自己有用感につながる心の大切な部分を意識します。そして何より、6年生の号令、「校長先生、先生方と朝の挨拶をしましょう」に合わせた全校224名の「はい」という返事は、子供たちの心の中にある「集う喜び」にあふれています。

コロナ対策はまだまだ必要です。しかし、知恵を出し合い、いろいろな工夫をしながら千束ファミリー皆で「集う」機会を提供していきたいと考えております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

学習のまとめ【年度内にその学年の学習内容を終えます】

千束小学校では、学校が再開した6月から次のような工夫をしながら授業を進めてきています。朝学習の時間も充実させ、学習の定着を図ってきました。3学期にもしっかりとまとめを行い、2021年度につなげます。(4教科について)

国語

- ・年間3作品程度ある文学的文章において、1作品は予定時間数をかけ、重点的に指導する。残りの2作品では1作品目で学習した既習事項を活かし、同内容の指導事項については時間短縮を図る。
- ・漢字の復習単元は宿題とし、家庭学習との連携を図る。

社会

- ・児童が学習問題を作り、その解決に向けて学習をする単元(重点単元)と、学習問題を教師と児童で作る(場合によっては教師が提示する)単元を精選する。
- ・NHK for school等、デジタル教材を活用し、調べる時間を短縮する。

算数

- ・毎時間の適応問題、単元末のまとめの問題を宿題とし、家庭学習との連携を図る。

理科

- ・問題を解決するために、実験や観察を重点的に行う単元と、NHK for school等、デジタル教材を活用し、時間短縮を図る単元を精選する。